

日本色彩学会第56回全国大会 [米沢] '25

実行委員長 山内 泰樹 (山形大学大学院)



日本色彩学会第56回全国大会 [米沢] '25 は2025年6月7日(土)、8日(日)に山形大学米沢キャンパスにおいて開催いたします。現在までに70件を超える発表申込があり、特別講演をはじめ、例年同様各種の計画を進めています。

今回は緑も美しい6月上旬の米沢開催となります。お練り合わせのうえ交流会も含めご参加いただきますようご案内いたします。

なお、大会の詳細は学会ホームページに順次掲載しますのでご確認ください。

■ 会期：2025年(令和7年)6月7日(土)－8日(日)

■ 会場：山形大学米沢キャンパス 〒992-8510 山形県米沢市城南4-3-16

<https://www.yz.yamagata-u.ac.jp/access/>

JR東日本「米沢駅」下車 車で10分

◇ 特別講演：奥泉 和也氏 (クラゲで有名な鶴岡市立加茂水族館館長)

◇ 高校生イベント

未来の色彩学研究を高校生にアピールするため、以下のイベントを企画しています。

- ・ 高校生セッション：高校生による色彩に関する自由な研究発表・討論を行います。
- ・ 高校生ワークショップ：色彩の基礎を知るため、チュートリアルとワークショップを兼ねてスペクトルビューワの制作実習を行います。

■ 参加費：

	会員種別	参加費 (前納参加費)	交流会費
登壇者	正会員・賛助会員	8,000円 (7,000円)	5,000円
	学生会員	4,000円 (3,000円)	4,000円
聴講者 (非登壇者) とも	一般非会員	16,000円 (14,000円)	5,000円
	学生非会員	8,000円 (6,000円)	4,000円
	中・高校生/専門学校生	500円 (500円)	—

* 交流会ではアルコール飲料が提供されます。中・高校生等、20歳未満の方の交流会への参加はできません。

◆ 企業展示・広告募集

展示・広告掲載 (WEBサイト、大会予稿集) いただける企業を募集しています。展示については、大会会場に設置されたブースにおいて製品紹介やデモンストレーションなどを行っていただきます。展示要項・展示費用、広告要項・費用等の詳細については追ってご案内 (ホームページ) いたします。

< 問合せ先 >

第56回全国大会実行委員会：zenkoku2025@color-science.jp

学会事務局：Tel&Fax 03-5913-7079

2024年2月7日

特集号担当編集委員長 高橋晋也

論文募集 (更新版) Call for Papers (Revised) 色彩と心理 (Color and Psychology)

日本色彩学会論文誌編集委員会では、日本色彩学会論文誌 (Color Science Research) の第3巻2号 (2025年9月30日発行予定) において、論文特集「色彩と心理 (Color and Psychology)」を企画しています。つきましては、特集号に掲載する論文 (原著論文, 研究速報, 研究資料) を募集いたします。皆様からのご投稿をお待ちしております。

主旨

印刷、発光はじめ各分野の色彩技術の進歩とともに、私たちの暮らしは彩り豊かになりました。それとともに、身の回りの色が自他を含めた人間の心理や行動に及ぼす影響への関心が、社会的にも学術的にも高まってきています。これは、色を“原因”と位置づける色彩心理の話題といえます。一方、眼に入る光の性質が基となり私たちは色を見ます。この視点において色は“結果”ですが、その過程には様々な環境要因や主体要因との相互作用があり、「どのように色が見えるか」という問題も色彩心理の重要な話題です。この二つの色彩心理の視点は、これまで応用研究・基礎研究の立場から独立に追究され、交じり合う機会に恵まれませんでした。今回、両者の統合可能性 (言わば「光から行動までの色彩心理学」) を探るための第一歩として、また誰しもが関心をもつ色彩心理の様々な話題を領域横断的に議論する場を設けるため、論文特集「色彩と心理 (Color and Psychology)」を企画します。

対象とする領域・分野・テーマ

「色がどのように見えるか」という問題に関連する研究課題として、錯視、同化対比、順応、弁別・類似度、恒常性、色の見えのモード、色カテゴリーなどが想定されます。また「色が人に及ぼす影響」という問題に関連する研究課題として、生理的影響、感情・感性、イメージ・連想、学習・記憶、意思決定、知的課題遂行、対人印象、スポーツ、購買・飲食、流行・文化、行動変容など広範な話題が想定されます。さらには古くから関心が寄せられてきた色の異種知覚効果 (大きさ、距離感、重さ、温冷感などへの影響)、異種感覚相互作用 (聴覚・味覚・嗅覚等とのクロスモダリティ)、色嗜好、色彩調和など、色と人の心理・行動にかかわる研究成果を幅広く募集いたします。

投稿論文の執筆と取扱い

原著論文および研究報告は刷り上がり10ページを、研究速報は刷り上がり4ページを目安に執筆して下さい。執筆要領は通常と同じです。査読も通常と同じ手続きで実施します。なお採録までの論文修正が複数回に及ぶ場合や、採録論文数が多い場合には、論文誌第4巻1号以降の掲載になることがあります。採録論文はJ-STAGEと日本色彩学会ホームページから、オンラインにて公開 (あるいは早期公開) されます。

投稿方法が2025年2月17日から変わります!

論文投稿・審査システム (Editorial Manager[®]) を2025年2月17日より運用開始します。投稿に関する詳細は、学会ホームページ上端の「刊行物」から、論文誌ポータルページ (<https://color-science.jp/journal/>) をご参照下さい。

日本色彩学会論文誌公開ページ (J-STAGE) : <https://www.jstage.jst.go.jp/browse/csr/-char/ja>

日本色彩学会論文誌ポータルページ : <https://color-science.jp/journal/>

論文投稿クイックリファレンス : <https://color-science.jp/gakkaishi/>

投稿締切日 : 2025年2月28日 (金)

掲載巻号 : 論文誌 Vol.3, No.2 (2025年9月30日発行予定)

問い合わせ先 : 日本色彩学会編集事務局 (辻埜), Email: editor@color-science.jp